

2024年度 第6591回 三重地区QCサークル大会 フレッシュ&チャレンジ大会 2024年11月13日開催（四日市市文化会館）

★★体験談発表の聴きどころご紹介★★

本大会では、製造部門事例と事務・販売・サービス（含む福祉・医療）事例部門の2部門により構成され、『結成間もないフレッシュなサークル活動』から、『老舗サークルの成熟したサークル活動』まで、いろいろなQCサークル活動のお手本となる体験談・活動事例を聴くことができます。今回の発表サークルによる体験談・活動事例のポイントをまとめましたので、来場時のご参考にしてください。多数のご参加をお待ちしております。

※発表順ではありません。

「フレッシュ製造部門」14件			
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	自動車部品		
会社名称	エイベックス株式会社	職種	製造関係
サークル名	オリバンス 極改善チーム	テーマ	シャフトライン夜勤省人化
サークル結成	2023年 7月	テーマ活動期間	2023年 7月～ 2023年 10月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	弊社は「小物切削・研削」の加工メーカーです。今回の課題は切削加工には欠かせない切削刃具の寿命延命をテーマにしています。メンバー全員で刃先をしっかりと観察し「溶着」という課題を解決した事例になります。
効果	スキルアップ 工数削減		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	嗜好飲料		
会社名称	AGF鈴鹿株式会社	職種	製造関係
サークル名	令和 背水の陣	テーマ	排水処理設備 運転管理効率化による、業務時間の創出、構築
サークル結成	2023年 4月	テーマ活動期間	2023年 5月～ 2024年 2月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	排水処理設備での慢性化トラブルや煩雑な設備管理に追われ、中長期的な改善計画実行が難しい、まさに背水の陣でした。綿密な現状把握と新技術や知見の模索を行い、年間1700時間分の改善構築を行いました。
効果	作業効率向上 工数削減		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	自動車部品		
会社名称	光精工(株)	職種	製造関係
サークル名	タイガーホット	テーマ	インナー落下品不良低減
サークル結成	2017年 11月	テーマ活動期間	2023年 6月～ 2023年 11月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	メンバー全員が初心者でありながらも持っている知識をひねり出して色々な角度から対策を出し合いました。「常に挑戦し続ける」をモットーに失敗しても諦めず活動し続けた成果・成長した本気の証（ストーリー）をお聴きください！！
効果	スキルアップ サークルレベル向上		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	自動車部品（シートフレーム）		
会社名称	トヨタ紡織精工(株)	職種	製造関係
サークル名	ピクリン	テーマ	測定時間のギャップ低減 ～身近なものは高性能～
サークル結成	2023年 1月	テーマ活動期間	2024年 1月～ 2024年 6月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	検査員の困りごとから問題抽出。トライ&エラーから、毎日触れている身近な物の利点に気づき改善に導いた。改善の費用対効果も大きく、会社へも貢献できた。女性、外国人、ベテラン、若手、ろうあ者、みんなが働きやすい環境作りを目指すことのできるサークルに変貌した。
効果	作業効率向上		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	自動車用ワイヤーハーネス・部品		
会社名称	住友電装(株)	職種	製造関係
サークル名	大岡町神領駅	テーマ	ワークアップ『フープ挿入異常』撲滅
サークル結成	2023年 6月	テーマ活動期間	2023年 7月～ 2023年 10月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	現場での困り事撲滅を目指し、残業時間を減らしてプライベートに時間を使いたい思いで活動を開始しました。残業の要因を深堀し、生産性向上を図る為にサークル全員で現地現物に拘りハイスピードメウで真因を突き止め改善を行った事例となります。
効果	作業効率向上 品質向上		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	自動車部品		
会社名称	（株）デンソー	職種	製造関係
サークル名	ワールド	テーマ	樹脂付着不良低減活動 「お客様目線のQCサークル活動」
サークル結成	2019年 7月	テーマ活動期間	2023年 2月～ 2023年 6月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	私達サークルは、新入社員から60歳を超えたベテランまで幅広いメンバーで活動しています。コミュニケーションを大切に”を言葉にDXを活用し、長年取り組んでいた樹脂付着不良を人とデジタルの融合で大幅な効果を出し続けた結果、一人一人に問題意識が芽生えサークルの成長に繋がった事例です。
効果	サークルレベル向上 品質向上		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	電子部品（半導体メモリ）		
会社名称	キオクシア(株) 四日市工場	職種	製造関係
サークル名	ボンダーマン	テーマ	ウェハ研磨装置端材回収改善
サークル結成	2022年 4月	テーマ活動期間	2022年 10月～ 2023年 2月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	開発業務に携わる私達メンバーは、のちの量産ラインが効率的に機能する仕組みを構築するために、新規設備の仕様変更や改善業務に取組んでいます。今回は新規設備の課題に対し、三現主義で装置を観察・分析し、端材を魚に見立て梁漁や網漁をヒントに改善策を考案。先人たちの知恵を活用した取り組みをご紹介します。
効果	作業効率向上 工数削減		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	半導体製造装置用の部品製品		
会社名称	(株) 神戸製鋼所 大安製造所	職種	製造関係
サークル名	陽気なぶるぐらまー	テーマ	製品加工プログラム作成における 無駄作業時間の削減への挑戦
サークル結成	2020年 4月	テーマ活動期間	2022年 4月～ 2023年 3月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	生産が増加傾向で目まぐるしくお客様希望が短期納期のため製品加工プログラム作成の班員が高負荷の状態でした。本活動は作業者の負担や困り事を軽減し、さらに生産性向上を期待した活動です。悩みながらもチーム一丸となり問題を追求し円滑に立ち上げる事ができ結果を出す事が出来ました。
効果	作業効率向上		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	自動車用シート		
会社名称	(株)コパルック	職種	製造関係
サークル名	ポンプアップ	テーマ	樹脂部品の嵌め込み不良撲滅
サークル結成	2017年 10月	テーマ活動期間	2023年 7月～ 2023年 10月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	私たちのサークルは不良率低減に向けた活動報告を行います。新製品立ち上げ後、品質不具合の解決に向けてサークル活動を開始しました。初めてリーダーを務め現地現物でメンバーと意見を出し合い、問題を解決した事例です。経験の浅い私にとって、このQCサークル活動は「弱みを強みに」成長させる貴重な機会となりました。
効果	工数削減 品質向上		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	軸受（ベアリング）		
会社名称	NTN株式会社 製作用	職種	製造関係
サークル名	チームいなべ	テーマ	球面プッシュ 寸法不良の削減
サークル結成	2014年 4月	テーマ活動期間	2023年 6月～ 2024年 3月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	対象ラインにおいて、寸法不良(内径不良)の慢性的な発生は製作課の長年の課題でした。長期的な活動になることが考えられましたが、なんとかしたいという思いから、サークルで不良削減に向けて取り組みを開始しました。不良要因分析を行い、効果的な対策実施で目標達成した事例をお聴きください。
効果	品質向上		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	一般産業部品・自動車部品		
会社名称	ニッタ株式会社	職種	製造関係
サークル名	Mファクトリー	テーマ	ATC完成品運搬作業を楽にする
サークル結成	2017年 3月	テーマ活動期間	2022年 10月～ 2023年 9月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	重量のある製品の運搬作業に着目し、作業者の感覚的な大変さをオリジナルの敷式でポイントに変換し、見える化する事で改善の足がかりとなりました。メンバーでディスカッションを繰り返し行い、改善に繋げ、安全性、作業性の向上を実現しました。
効果	作業効率向上 安全向上		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	自動車部品		
会社名称	NTN株式会社 三雲製作所	職種	製造関係
サークル名	ロッキャーズ	テーマ	研磨4ライン落下品削減
サークル結成	2004年 1月	テーマ活動期間	2023年 5月～ 2024年 4月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	現場の困り事であり、課の方針に沿っている。係員に落下品発生の頻度を知ってもらい、落下品を削減する事で直行不能品削減と稼働率・生産性向上で目標を上回る成果へと繋げた事例をお聞きください。
効果	作業効率向上 モチベーション向上		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	自動車部品		
会社名称	ボルグワーナー・モルシステムズ・ジャパン株式会社	職種	製造関係
サークル名	Power	テーマ	N2工程作業改善による作業負担軽減
サークル結成	2021年 5月	テーマ活動期間	2022年 5月～ 2022年 12月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	日常、何気なくしている作業は高齢者が安心・安全に働ける作業環境ではない。作業をしっかりと数値化し対策を進め、高齢者でも安心・安全に働ける作業環境を実現しました。また、安全性だけでなく生産性向上にもつながった改善事例です。
効果	安全向上 作業効率向上		

事例No	発表時間	発表部門	製造部門
事例No	発表時間	発表部門	製造部門
主力商品	配線機器		
会社名称	旭電器工業(株)	職種	製造関係
サークル名	アイアンマン	テーマ	高シールドテレビコンセント 高周波性能の改善
サークル結成	2017年 4月	テーマ活動期間	2020年 3月～ 2021年 2月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	工程の困りごとからテーマ起案。設計、品管など他部署も巻きこんで原因追及、対策、効果確認を実施。サークルとしてさらなる高みを目指して活動。今まで使ったことのない手法も使ってサークルランクもアップ。しくみ面の歯止めも行ってきっちり。
効果	作業効率向上 品質向上		

「フレッシュ&チャレンジ 事務・販売・サービス（含む医療・福祉）部門」4件			
事例No	発表時間	発表部門	事務・販売・サービス（福祉・医療）部門
事例No	発表時間	発表部門	事務・販売・サービス（福祉・医療）部門
主力商品	自動車部品		
会社名称	(株)三五 米野工場	職種	品質管理関係
サークル名	モンキーズ	テーマ	補給専用ライン 補給品QC工程表の作成
サークル結成	2018年 1月	テーマ活動期間	2023年 1月～ 2023年 6月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	量産製品とは世界が異なり、多種多様な生産工程となる補給部品。品質維持・保証のためのQC工程表も多様な生産工程に対応するため、従来の考え方に取らわれない視点で新たなQC工程表を考案しました。現場と問題を共有し協力しあうことで解決できた事例です。
効果	作業効率向上		

事例No	発表時間	発表部門	事務・販売・サービス（福祉・医療）部門
事例No	発表時間	発表部門	事務・販売・サービス（福祉・医療）部門
主力商品	ポリマーフィルム2層銅張積層板		
会社名称	株式会社伊勢村田製作所	職種	事務関係
サークル名	それいけ！Pマン	テーマ	社内電子掲示板の検索性改善
サークル結成	2023年 4月	テーマ活動期間	2023年 4月～ 2024年 3月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	活動メンバーの担当業務は総務・人事・経理と様々な中、「社内周知済の内容が繰り返し質問される」という、我々だけでなく会社全体に影響する非効率に対し、メンバー一丸となって改善を目指しました。また、活動を通じて参加者全員のスキルアップも目標としました。是非お聞きください。
効果	サービス向上 作業効率向上		

事例No	発表時間	発表部門	事務・販売・サービス（福祉・医療）部門
事例No	発表時間	発表部門	事務・販売・サービス（福祉・医療）部門
主力商品	自動車		
会社名称	社会医療法人 畿内会 岡波総合病院	職種	医療福祉関係
サークル名	ARE? つながらない?	テーマ	電話の相手をまたせないために
サークル結成	2023年 7月	テーマ活動期間	2023年 6月～ 2023年 12月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	病院に電話かけた方に「スムーズ」と感じてもらえるような電話対応を目指し、院内全体で取り組みました。総合病院の電話交換業務はどちらかと言えば裏方の仕事、縁の下の方というイメージですが、今回の取り組みで職員に電話交換業務を知ってもらえたことも大きな成果だったと思います。
効果	サービス向上		

事例No	発表時間	発表部門	事務・販売・サービス（福祉・医療）部門
事例No	発表時間	発表部門	事務・販売・サービス（福祉・医療）部門
主力商品	自動車		
会社名称	ICDAホールディングス株式会社	職種	サービス・営業関係
サークル名	頭文字D	テーマ	デジタル化による業務効率改善
サークル結成	2023年 6月	テーマ活動期間	2023年 6月～ 2024年 2月
問題解決の 手順	問題解決型	聴きどころ	DX化やアフターコロナで仕事のあり方が変わるなか、これからの時代に合った働き方改革を行うため、若手メンバー中心で既存のツール・システムの使い方を考え直し、業務効率を向上させ全社に波及させるモデル拠点になれる取り組みを行いました。
効果	サービス向上 作業効率向上		